

産官学連携（平成 24 年度）

- ・文部科学省イノベーションシステム整備事業 先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「再生医療本格化のための最先端技術融合拠点」では、細胞シートの基礎研究に加え、本学の消化器外科、歯科口腔外科、呼吸器外科との連携により、再生医療の臨床応用に関する成果がでてきている。学外との連携においては、食道再生に関して国内（長崎大学・がんセンター）・海外（カロリンスカ研究所）の双方で連携し、臨床研究もスタートした。また、スーパー特区の成果として、重症心不全患者に対する筋芽細胞シート移植の治験が本学、東京大学、大阪大学の3施設で開始された。本プログラムは中間評価において最も高い「S 評価」を取得した。
- ・MIL（メディカルイノベーションラボラトリー）を通じた企業との連携では、日立製作所が共同開発で自動培養装置の臨床研究用の製品化を発表するなど、再生医療の産業化に向けた成果が着実に出てきた。その研究はマスコミ等で取り上げられることも増加傾向にある。